

令和2年度 森町立天方小学校 グランドデザイン

国(学習指導要領)
「生きる力」の育成
(知識・理解)
(思考力・判断力・表現力)
(学びに向かう力・人間性)

静岡県教育 基本目標
「有徳の人」の育成

森町 教育目標
「こころざし」をもち、
たくましく生きる子の育成

校訓 勢いのある天方っ子

学校教育目標
かかわりの中で、
よく考え、よりよく行動できる子

学校経営目標
小規模校の良さを生かした個への指導と見取りを充実する
・児童が判断できる余地を残した個に応じた指導支援
・児童の変容を見取り価値づける評価

児童の実態(長所と課題)

- 素直で何事にも一生懸命に取り組む。
- 小集団を成り立たせようとする人への優しさを持っている。
- 進んであいさつができる。
- 上級生が下級生に優しく、あこがれの存在になっている。
- 受け身ではなく、主体的な行動が増えた。
- 次年度、森小学校への統合を控えている。
- 考え判断する場面を数多く経験する必要がある。

重点目標 「プラス1 (判断力・行動力)」の育成

心づくり

やさしい気持ちで、前向きに行動できる子

- 1 プラス1の意識化の継続
 - ・日々、子供が判断できる場の設定
 - ・任せる特別活動(委員会、係活動、通学班 等)
- 2 あいさつと言葉づかいを中心にしたかかわり
 - ・誰に対しても目を見てあいさつ、目を見て話を聞く習慣づくり
 - ・子供、教員、保護者で取り組むあいさつ週間
- 3 個々のレジリエンス(心の回復力)の育成
 - ・生活アンケート後の個別面談の実施
 - ・SC、SSWとの機能的な連携
 - ・健康の日、学級活動でのアクティビティ

○児童 児童アンケート(年5回)

- ◆プラス1を意識して行動できる子 100%
- ◆家でも学校でも、自分から、あいさつできる子 90%
- ◆「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子 95%

- ・校内委員会(心づくり面)
- ・いじめ防止対策委員会

学びづくり

PLAN DO

主体的・対話的で深く学ぶ子

- 1 「そうか!」「なるほど!」という学びに向けた主体的で対話的な学びづくり(深い学びの積み重ね)
 - ・主体性を育み、対話を生む課題設定や発問の工夫
 - ・児童の創造性を引き出す対話の仕かけ
 - ・単元ごとの形成的な学習評価と日々の授業研究
 - ・「自主勉強」や「読書」を取り入れたプラス1の家庭学習の充実
- 2 思考力の源となる読書活動の推進
 - ・読み聞かせや読書週間の設定
 - ・親子読書や本の紹介の推進

Check

○教師 行事反省、職員評価(年3回)

- ◆自分の考えをもち、友達と関わり合いながら学ぶ子 90%
- ◆家庭学習にプラス1ができる子 90%
- ◆年間目標読書数を読める子 80%
 - 低学年 100冊
 - 中学年 80冊
 - 高学年 40冊

ACTION

- ・校内委員会(学習面)
- ・校内研修、研究推進委員会
- 研究主題「主体的・対話的で深く学ぶ子」

体づくり

たくましい心と体をもつ子

- 1 運動のめあて達成に向けたプラス1を生み出す工夫
 - ・過去の記録等を利用しためあてづくり
 - ・個人カードの工夫と活用
- 2 家庭との連携による基本的な生活習慣向上のための啓発
 - ・起床就寝時刻の設定と生活記録や天方っ子アンケートでの自己評価
 - ・栄養バランスを意識した食事の啓発
- 3 朝運動、外遊びの奨励
 - ・登校後の朝の自主運動
 - ・昼休みの外遊び 等

○保護者 保護者評価(年2回)

- ◆めあてに向かってプラス1の努力をする子 95%
- ◆起床就寝時刻を守る子 90%
- ◆家でも学校でもなんでも食べようと努力する子 95%

- ・校内委員会(体づくり面)

勤務環境改善

- 町非常勤職員による複式指導解消
- グループウェアの利用による効率化
- 勤務実態の把握、意識改革

<地域>

- 学校評議員会
 - ・目指す子供像の共有
 - ・子供の姿を基にした「熟議」
- 地域行事への参加、協力

<天方っ子支援ボランティア>

- 天方っ子支援ボランティア会
 - ・ボランティア協力をお願い
 - ・読み聞かせ
- <放課後子供教室・移動児童館>

<保護者・PTA>

- 参観会、懇談会、PTA活動
 - ・学校だよりやホームページによる情報発信

社会に開かれた教育課程の実現